

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 骨格筋再生医療を基盤とした健康寿命の延伸
2. 研究代表者： 古市 泰郎（東京都立大学 大学院人間健康科学研究科 ヘルスプロモーションサイエンス学域 助教）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、骨格筋の萎縮に対する代替治療法として、骨格筋の幹細胞（筋細胞に成ることのできる未熟な細胞）を生体外で「筋芽細胞」として大量培養し、それを生体に移植する再生医療の実現を目指す。移植効率の向上と移植細胞の機能強化に挑戦し、効率性と汎用性の高い方法を確立することを目的としている。フェーズ 1 では、筋芽細胞を制御する因子を発見し、生体での増殖・定着に向けて一定の成果が得られている点は評価できる。一方で、生着後の十分な増殖に課題があり、また筋肉としての機能面の評価が十分でない。フェーズ 2 では、再生医療実現のために生着率の向上、大量培養を実現し、ヒトでの応用を目指したブレークスルーを見つけることに期待する。その先の社会実装を見据えた場合、臨床研究を見据えて必要な共同研究体制を構築することも期待したい。

以上